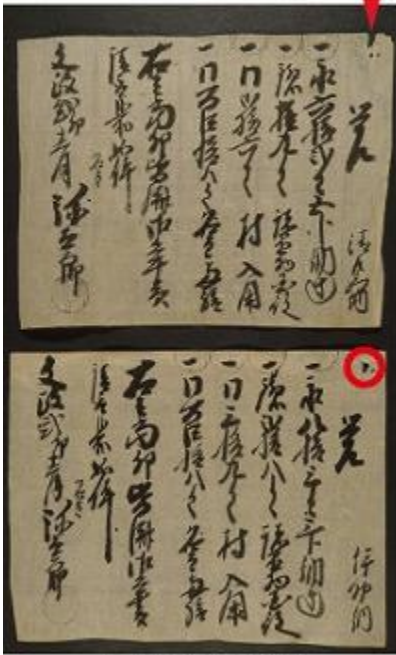


綴じる、領収、切る、渡す

小瀬戸村須田省一郎家文書



文政 2 年 覚 (年貢請取)
No.727-112 (上)・114



文化 13 年 年貢請取
No.727-110 (左)・133 (中)・134 (右)・109 (右上)

(須田省一郎家No.727-109・112 ほか)

これらは江戸時代後期に、小瀬戸村の村人が年貢を支払った際に名主が発行した領収書です。下段の文書は、料紙中央の上辺がV字形に切れています。その左の同様の文書を見ると同じ場所に穴が空いていることに気づきます。これは、名主が年貢の領収書を紙綴りのようなもので綴っておき、年貢が納められると、それを引きちぎって当人に渡したものと考えられます。文書の使われた場面が想定できる例です。